



R18

■Attention!

この本はFGOにおける二次創作です。
実在する人物・団体とは一切関係御座いません。

- ・捏造設定・自己解釈を多分に含みます。
- ・18歳未満の方の閲覧はご遠慮下さい。

以上ご理解頂いた上でお読み下さい。

同じ胞はらから
生まれた
私でさえ

あれは
『化物』
なのだと
思わされる

——真の英雄は眼で殺す

「梵天よ、
地を覆え!!」



回避を...

っ！

想定より
速度が
上がっている！





打ち取れると
思うな！

この程度で
私を

★



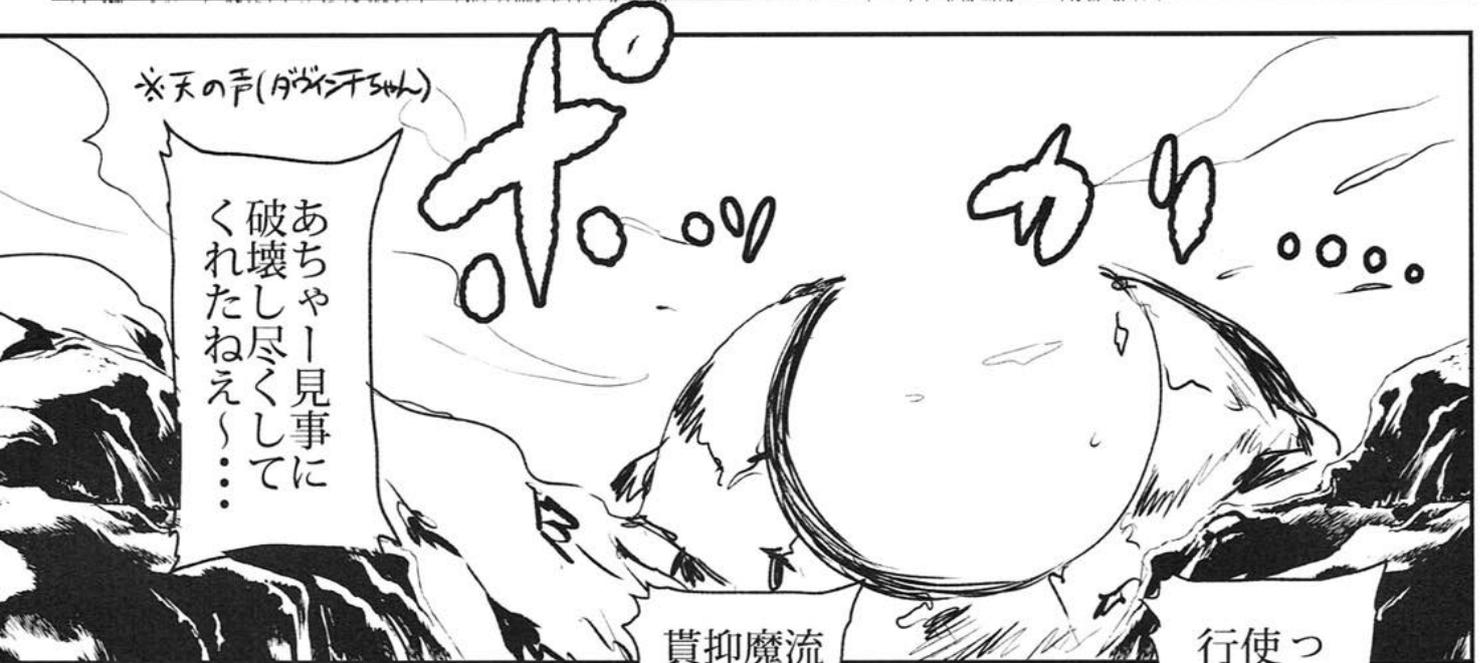
神々の王の
慈悲を知れ……



あれを
使うのか!?



ならばこちらも
やむを得まい……!





それを
お前が
言うのか？

...



何だと？



近接戦が苦手な
お前に合わせて
遠隔戦闘に
したのだが

元より
クラス相性もある

今日の
シミュレートは
終わり！
午後は
予定ないから
好きにしていよ



む、
そういう
意味では

はいはい喧嘩は
そこまでにして、

つまり私を
侮っている
訳ですね？

互いに神と
人の母との
間に生まれ
半神の子で
あるのに

どうにも
同じ生体と
は考えにくい

カッ

自分で
称するの
も何だが、

カッ

私は迷う故に
「人」寄りであり

これは迷いが
ないからこそ

「神」寄り
なのだと思う

あら、

カルジュナに
アルジュナだわ！

だが……
例え対峙するものが
「神」だとしても、
私はこの男を――



ナーサリー
……と

書斎の外で会うとは
明日は雪でも降るか
アンデルセンよ

カルデアは常に
雪まみれだろう馬鹿め
☆



食料探しに食堂に
忍び込もうとした
矢先捕まった所だ

おまえが名の通りの
人間ならば今すぐ
俺を解放してくれ



そう
困っている訳でも
無いのだろう

実に厄介だな
その『眼』は

……ちっ

遠慮もなく常に
丸裸にされている
弟の心中を
察するというものだ

俺のような
三流サーヴァントにまで
明け透けに言われるのも
嫌だろうが、

正しく生きようとする
その精神に
何の不満があるのやら

あなたたち
聞いてない？

マスターたちが
この間のレイシフトで
演じたという演劇を

わたしたちにも
見せてくれるそうなの！

俺の書いた台本を
どんな三文芝居にするか
ひたすらにコキおろして
やるつもりだがな

まあ原稿の
箸休めくらいには
なるだろうさ

二人も一緒に
見ましようよ！

芝居か

興味深いな、
同行するでしょう

アンデルセンが
書く結末はちよつと
不安だけど……

マスターたちの劇は
とつても楽しみだわ！

!?

この手の
娯楽には

一切興味が
無いと
思っていたが……

素敵なお話ですが……

用事がありますので
私は遠慮しておきます

……では

アルジュナ？

あら……
残念ね

おい、
施しの英雄

？

アレはおまえを
化身か化物かと思って
いるようだが

アレもアレで立派な
『緑色の眼をした化物』を
飼っているようだぞ

全く、器用な
眼を持ちながら
バカが付くほど
鈍感が過ぎる

どこぞの演劇作家様の
言葉借りるのは
同業のプライドに
関わるが

——それよりも

そんな
殺気を纏わせて
芝居を見ようなど
言語道断だ

それをとつとと
どうにかしてこい

!

…すまんが
ナーサリー

誘いは
嬉しいのだが
オレも用を
思い出した

またの
機会に頼む

カルナまで？
しょうが
ないわね…

マスターに今度
別の日にも見せてくれるか
聞いておいてあげる！

感謝する

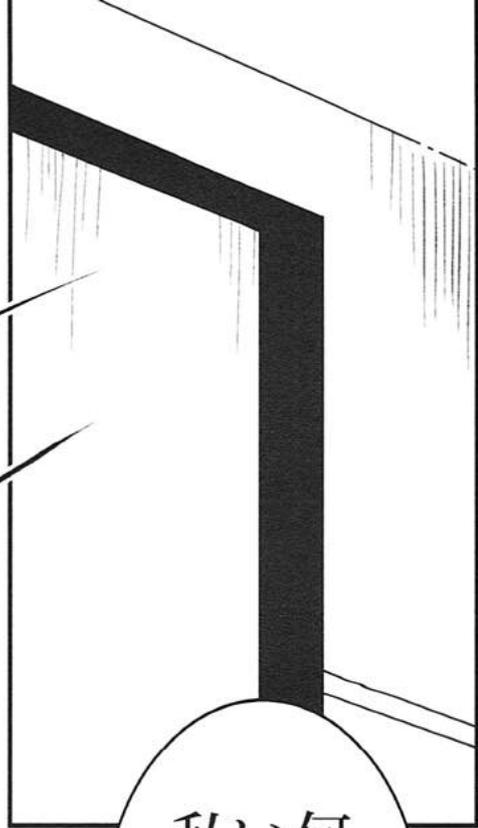
いきしょう
アンデルセン！

まったく、
痴話喧嘩は犬も
食わんと言うのに

俺も何を
しているんだか



はあ……



何を
して
いる
んだ
て
私
は
……



ら
しく
も
ない
断
り
方
を
し
て
し
ま
っ
た

は
あ
……



ま
る
で
私
だ
け
が
余
韻
を
引
き
摺
っ
て
い
る
み
た
い
で
は
な
い
か



あ
ん
な
……

と
は
い
え
カ
ル
ナ
と
芝
居
を
楽
し
む
な
ど

こ
っ
ち
は
不
完
全
燃
焼
だ
と
い
う
の
に

尚
更
有
り
得
ん



あつい

…は、あ

…るな、



何故人虚しく
処理しなければ
ならない…!!

んッ

ふう、

んっ!



くそ、
あと少しが
イけない！



アルジュナ

それもこれも
全部あの男が





つかるな、
何故

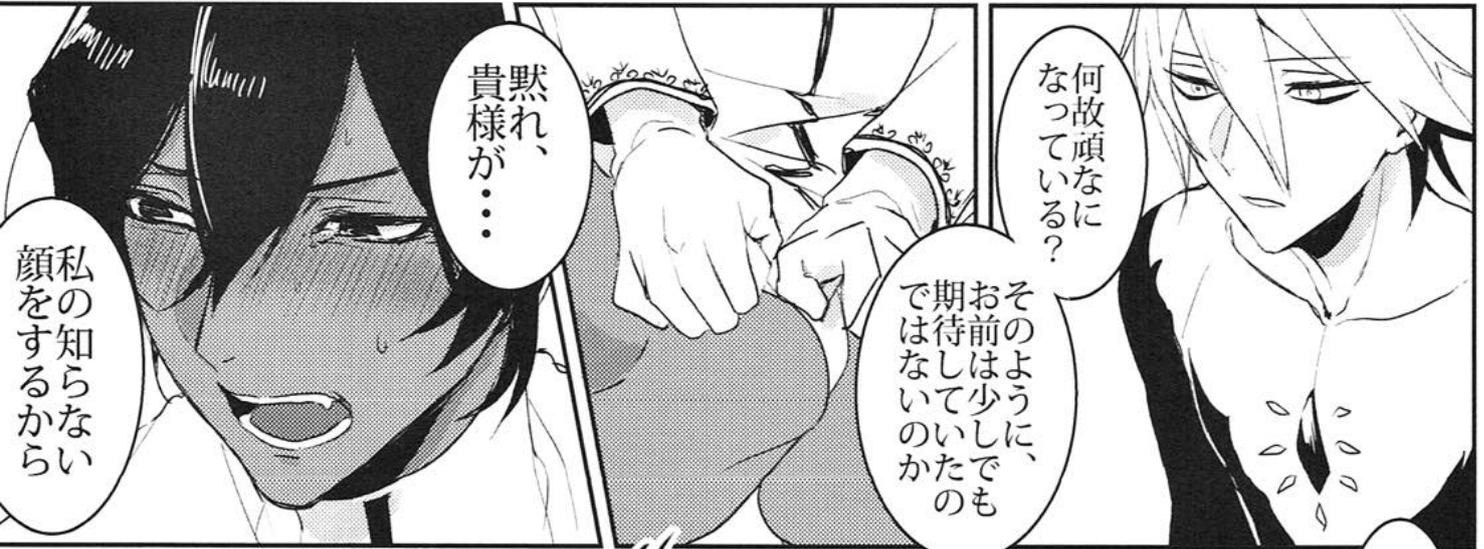
な!?

優先順位が
変わっただけだ

オレはお前に
用があつてきた

生憎だが
私には無い、

芝居でも何でも
何処かに
行ってしまえば
いいだろう!



何故頑なに
なっている?

そのように、
お前は少いでも
期待していたの
ではないのか

黙れ、
貴様が...

私の知らない
顔をするから



...?

...ふむ、
そうか

お前とは
戦う事以外では

あまり顔を
合わせんからな

!?



少なからず
娯楽に興じる
感性もあれば

こうしてお前に
触れたいという
衝動とてある

な……

……真つ当な人間は、

人の考え事など
見透かせない

死を分かかっていて
自己犠牲など
出来やしないっ

人であれば、

そうだな

……そう
かもしれん

だがそれでも
確かに欲は
存在する

アルジュナよ

『人』であることを
見縊られては困る

オレがどれ程
お前に執着して
いるのか……

ここで
思い知れ



何が人だ

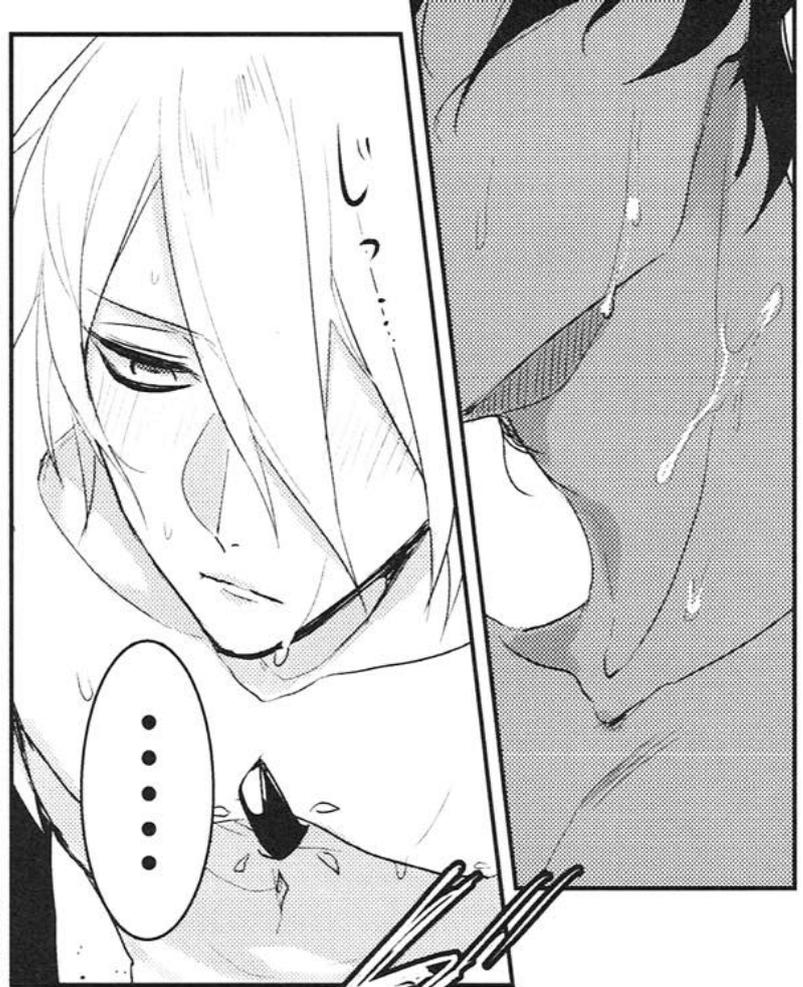
人も神も
通り越して



くそ、
どれだけ
出す気だ...!



？カルナ、何を...



痛



ふむ、これは悦いな

後ろも締まる



何なんだいきなり！

巫山戯るのも
大概に……!!



おめ、



ん、あ!



なに、

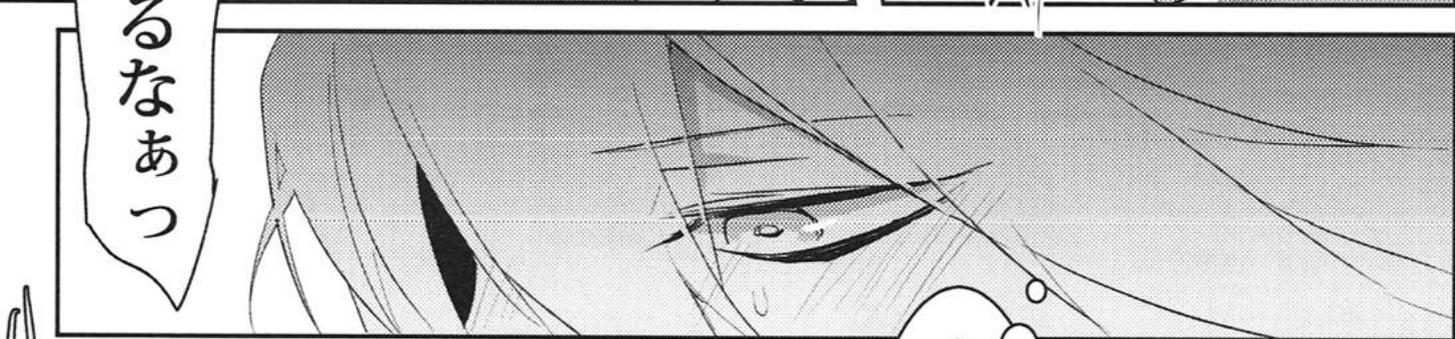
これい



イツ

だめだつ
噛むな





もしかすると
これは

とんでもないものを
自覚して
しまったのだろうか

はっ
かるなっ...

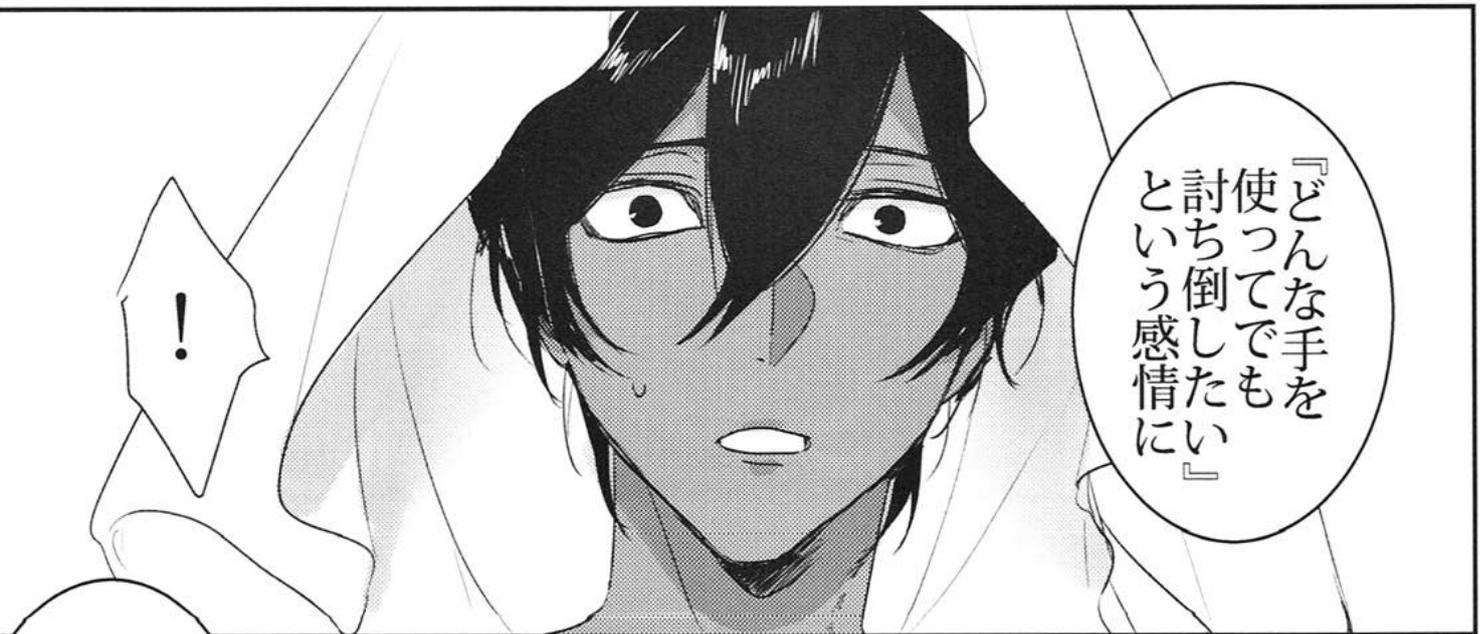
動く事は...
難しいようだな、

マスターには
オレから
伝えておこう

治癒スキルが
あるとはいえ

好き勝手して
くれたなカルナ...

シーツ





：：貴様が
全て正しいとは
限らないだろう

自惚れか
もしれないが



カルナを『人』
たらしめるもの
がこの世に在るの
だとすれば

オレにそう
させるのは
お前しか居まいよ、
アルジュナ

…ならば

もう少し
私の前でも
笑ってみせたら
どうだ

?

それが
私だけ
であれば
良い

Divine resses

2018.1.28 発行

置くみる／劇団レトロ座
【tomatina53@gmail.com】

印刷：丸正インキ

※無断転載・オークション出品禁止

FGO FAN BOOK #4

Karna*Arjuna

presented by Gekidan Retro Za.